

理研シンポジウム 第20回 分析・解析技術と化学の最先端



日時：2019年12月11日(水) 12:55 – 17:30

協賛：日本化学会、日本薬学会

会場：鈴木梅太郎記念ホール(和光市広沢2-1)

後援：日本農芸化学会

参加費：無料

意見交換会：17:50 - 広沢クラブ (会費4,000円、学生2,000円)

質量分析による修飾核酸のキャラクタリゼーション

中山 洋 (理研CSRS)

Native質量分析によるタンパク質複合体の高次構造解析

七種 和美 (産総研・物質計測)

固体NMRによるフッ化物イオン伝導体の構造と

ダイナミクスの研究

村上 美和 (京大SACI)

第一原理シミュレーションとマテリアルズ・

インフォマティクスによる新材料設計

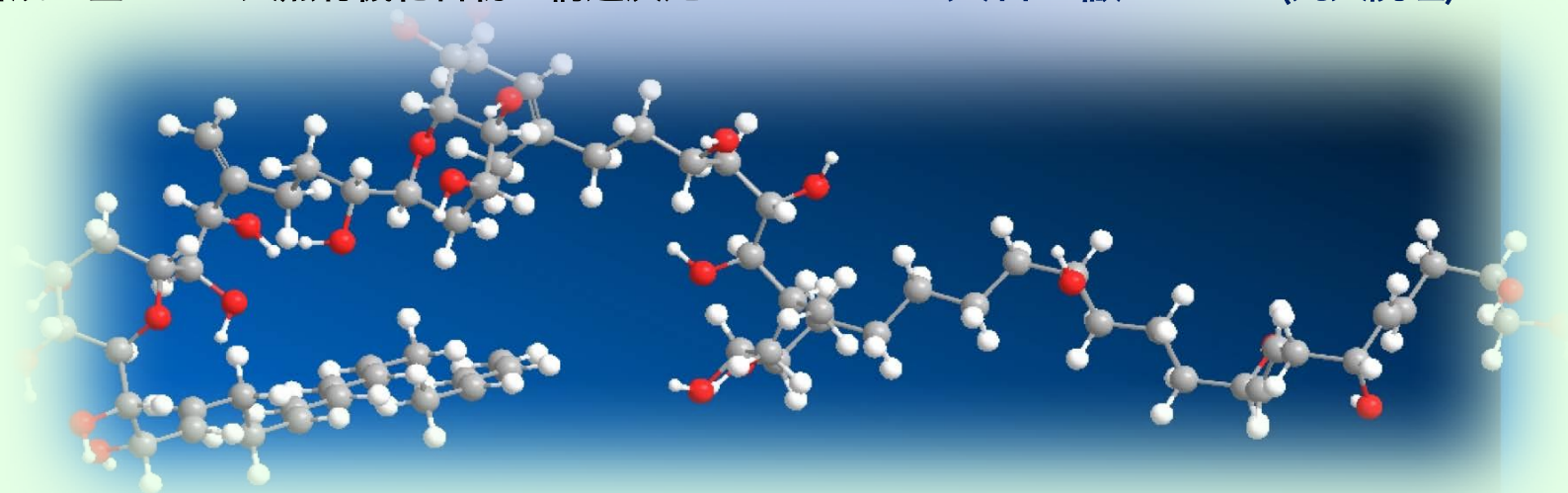
中嶋 隆人 (理研R-CCS)

LC-NMR法の基礎と応用

赤木 謙一 (医薬基盤・健康・栄養研)

化学合成に基づいた天然有機化合物の構造決定

大石 徹 (九大院理)



参加申込・問合せ先：国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター

技術基盤部門 分子構造解析ユニット 越野広雪 E-mail: koshino@riken.jp